

令和4年6月定例会議案一覧

上程された議案・概要 賛成：○ 反対：× ※小林俊夫議員は議長のため採決には加わりません。		中村由美子	有坂隆志	江間田信一	山口菊一郎	岡田年弘	大根田周平	大根田弘	北條勲	小林一男	石川保	岩村治雄	小林隆志	小林信二	小林俊夫	議決結果
		採決結果														
承認																
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(芳賀町税条例等の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(芳賀町都市計画税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(委託工事契約の締結)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認
報告																
報告第2号	繰越明許費繰越計算書の報告について(令和3年度芳賀町一般会計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告
報告第3号	公益財団法人芳賀町農業公社の経営状況説明書の提出について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告
報告第4号	芳賀町ロマン開発株式会社等の経営状況説明書の提出について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告
条例改正																
議案第40号	芳賀町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第41号	芳賀町職員の給与に関する条例及び芳賀町一般職の任期付職員等の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第42号	芳賀町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第43号	芳賀町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第44号	芳賀町工業団地管理センター設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第45号	芳賀町体育館等の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
締結																
議案第46号	工事委託に関する基本協定の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第47号	工事請負契約の締結について(令和4年度箸塚歩道橋架け替え工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
補正予算																
議案第48号	令和4年度芳賀町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第49号	令和4年度芳賀町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第50号	令和4年度芳賀町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議																
発議第2号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

委員会活動 議会閉会中の継続審査

常任委員会は、所管する町の事務について自主的に調査を行う権限を有しており、これを「所管事務調査」といいます。総務・教育民生・産業建設常任委員会は、議会最終日の6月3日に閉会中の所管事務調査について議長に申し出し、議決により許可されました。各常任委員会は次のテーマについて調査を行い、12月定例会で調査結果を報告する予定です。

総務 自治会加入率の低下に対する対策について

調査の目的

昨今、自治会離れが問題視されている。核家族化が進み、若者たちの生活スタイルも変わっているなかで、若い世代は自治会をどのように捉えているのか。また、高齢化も進み自治会に加入していても、なかなか協力できない等の理由から組織を抜けられる方も多いという現状もあるなか、住んでいる地域を協力し合って管理・運営していく組織である自治会はどのように対応しているのか、課題と対策について調査研究する。

教育民生 ①中学生の通学路調査について ②公共施設(子育て・保健施設)の管理について

調査の目的

①中学生の登下校について、距離がありスクールバスの要望も一部から出ている。
当町の現状と課題を調査研究する。
②保健センターや農業者トレーニングセンターなど経過年数を重ねた施設が多いため、維持管理等の課題について調査研究する。

産業建設 米の消費拡大について

調査の目的

近年、食生活の多様化、少子高齢化などの要因により、お米の消費量が減少している。食料の多くを輸入に頼っている日本だが、お米の自給率はほぼ100%である。
お米は、お餅や祝い事などの赤飯などでも消費されており、お煎餅や日本酒など、日本人になじみの深い食品の原材料としてもかかすことのできない存在である。また、健康志向からグルテンフリーの食品が注目され、米粉を使用した米粉パンの需要も高まってきている。
こうしたことから、お米の消費拡大に向けた、酒や米粉などの加工品への取り組み状況や課題、商品宣伝に貢献している「道の駅」などについて調査研究する。